

千葉大学病院および全国の国立病院に入院された 患者の皆様、ご家族の皆様へ

2024年9月9日

千葉大学医学部附属病院総合診療科

千葉大学医学部附属病院総合診療科では、全国国立大学病院のDPCデータを用いた臓器専門医の領域横断的診療可視化に基づく医師偏在指標の開発（厚生労働省地域医療基盤開発推進研究事業）に関する研究を行っており、以下に示す方の診療情報などを、本文書の公開日以降に利用させていただきます。研究内容の詳細を知りたい方は、末尾の相談窓口にご連絡ください。

本文書の対象となる方

- (1) 千葉大学医学部附属病院を2022年9月～2022年11月に退院された方
- (2) 全国の国立大学病院を2017年4月1日～2025年3月31日の間に退院された方

1. 研究課題名

「全国国立大学病院のDPCデータを用いた臓器専門医の領域横断的診療可視化に基づく医師偏在指標の開発（厚生労働省地域医療基盤開発推進研究事業）」

2. 研究期間

2024年承認日～2028年12月31日

この研究は、千葉大学医学部附属病院 観察研究倫理審査委員会において、千葉大学の多機関共同研究の一括審査の承認を受け、千葉大学病院長の許可を受けて実施するものです。

3. 研究の目的・方法

2024年4月から医師の業務負担軽減を目的とした医師働き方改革が開始されますが、単に労働量を削減しただけでは医療の質、医療安全は確保できません。米国では病棟総合医（ホスピタリスト）や診療看護師（ナースプラクティショナー）など、入院患者の主治医機能、領域横断的な診療機能を主として有する専門医が活躍してタスクシフト・タスクシェアを実現しています。一方で本邦ではこれらの職種は組織的には養成されておらず、臓器専門

診療科が専門領域から領域横断的な診療まで幅広く対応することで日々の診療を行っています。日進月歩の医学において専門領域の情報量は日々増えており、領域横断的な診療と現状の割合のまま両立させることには困難が予想されます。そのため、本邦における臓器専門診療科のプライマリ・ケア領域の負担を可視化することができれば、タスクシフト、タスクシェアの基礎資料となり、より効率の良い医療を提供することに繋がれると考えました。本研究ではDPC(診療群分類包括評価)という入院患者の診療情報からプライマリ・ケア診療の負担がどれくらいあるかを評価する研究計画を立案しています。

DPCでは、患者IDや年齢、性別、入院中に診療を行った診断、検査、治療などが一元的に整理されており、全国の42ある国立大学病院のDPCデータは、個人情報匿名化の上で、東京大学医学部附属病院国立大学病院データベースセンターで保管しております。本研究ではまず、千葉大学病院を2022年9月～11月に退院された患者のDPCデータを匿名化して、病棟総合医(ホスピタリスト)が主治医機能を担える群と、担えない群に分類します。引き続いて、千葉大学のDPCデータから抽出したDPCコードのみを、国立大学病院データベースセンターが保有するDPCデータと突合し、病棟総合医(ホスピタリスト)が主治医機能を担える群と担えない群とにおいて、その患者背景、要因を明らかにすることを目的とした横断研究を計画しています。

患者情報につきまして、千葉大学におけるDPCデータについては、氏名等の個人を識別できる情報を削除し、研究IDに置換するなどの加工及び、個人情報の保護に関する法律に準じた安全管理を行います。千葉大学病院における患者氏名等と研究IDとの対応表は、千葉大学内で研究責任者管理の下保管され、外部へは提供されません。個人情報を削除したDPCデータ情報のみを国立大学病院データベースセンターと共有して、同センターが保有する全国42の国立大学病院から集められたDPCデータと突合します。データは厚生労働省地域医療基盤開発推進研究事業の研究分担者(以下5. 研究組織のリスト参照)に提供され、国立大学病院データベースセンターで解析が行われます。個人を識別出来る情報を削除した研究データは研究責任者、研究分担者のみが参加するMicrosoft Teamsを用いて情報共有を行います。

4. 研究に用いる情報の種類

(1) 千葉大学医学部附属病院の患者

DPCコード対象のうち

入院診療科、病名(最も医療資源を投入)、主傷病名、入院の契機となった傷病名

(2) 国立大学病院(42大学)の患者

すでに DPC コード化された

- A) 入院診療科、年齢、退院時年齢、性別、生活歴（飲酒・喫煙など）、職業歴、既往歴、併用薬、家族歴、退院年月日、患者住所地域の郵便番号の名称等
- B) 入院時の診療情報（病名、入院日数、診療内容、手術内容、入院転院状況等
- C) 生化学検査、血液学的検査等の臨床検査結果、がん原発部位、組織型、ステージ等

5. 研究組織

【研究機関名及び本学の研究責任者名】

研究代表機関：千葉大学医学部附属病院 病院長 大鳥 精司

研究責任者(研究代表者)：総合診療科 （講師/科長代理）上原 孝紀

研究分担者：総合診療科 （助教）横川 大樹

研究分担者：クオリティ・マネジメント・センター （特任教授） 小林 美亜

共同研究機関：東京大学医学部附属病院 国立大学病院データベースセンター

研究責任者（特任助教）中部 貴央

6. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた個人情報は、氏名等の個人を特定するような情報を削除し、どなたのものかわからないように加工して、厳重に管理します。データの解析は国立大学病院データベースセンターでのみ実施し、解析結果は、千葉大学医学部附属病院総合診療科の医局、他のコンピュータと切り離されたコンピュータで保管します。研究結果を学術雑誌や学会で発表することがありますが、個人が特定されない形で行われます。

本研究についてご希望があれば、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で、研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧する事ができますので、相談窓口までお申し出ください。個人情報の開示に係る手続きの詳細については、千葉大学のホームページをご参照ください。

(URL : <http://www.chiba-u.ac.jp/general/disclosure/security/privacy.html>)

7. 研究についての相談窓口について

(1) 千葉大学医学部附属病院の患者さんへ

研究に情報を利用して欲しくない場合には、研究対象とせず、原則として研究結果の発表前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口までお申し出ください

い。なお、申し出があった時点で既に、国立大学病院データベースセンターの DPC データと突合されていた場合や、研究結果が論文などで公表されていた場合はこの限りではございませんので、ご了承下さい。情報の利用をご了承いただけない場合でも不利益が生じる事はありません。

(2) 全国の国立大学病院の患者さんへ

本研究で用いる DPC データは、解析する前に個人情報とは一切連結しないようにしたうえで、国立大学病院データベースセンターにおいて、研究責任者および分担者の管理責任のもとで、セキュリティ対策を施した情報システムにおいて解析をします。そのため、研究責任者であっても、個人を特定する事ができないため、同意を取り消すこと及び個人の結果を研究対象者本人に伝えることはできません。研究内容を本情報公開文書で公表することで、データを研究に利用させていただきます。

その他本研究に関するご質問、ご相談等がございましたら、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

相談窓口：〒260-8677

千葉県千葉市中央区亥鼻 1-8-1

千葉大学医学部附属病院総合診療科

医師 上原 孝紀

043 (222) 7171 内線6438

(FAX) 043 (226) 2680

chiba_u_soshin@mac.com